

OMRON

OMRON 電子体温計
MC-6800B

取扱説明書

わき専用

お知らせランプ
検温終了を光で
お知らせします。

電源スイッチ

電池カバー

表示部

プローブ

フラット感温部

＜付属品＞
収納ケース

このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
- 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロン ヘルスケア お客様サポート
https://www.healthcare.omron.co.jp/support/

TEL 0120-30-6606(通話料無料) FAX 0120-10-1625(通信料無料)
受付時間9:00～17:00(祝日を除く月～金)
〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370
※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。

オムロン お客様
サービスセンター

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターまたはご購入の販売店にご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、水没などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
(ニ) 品質保証書の提示がない場合。
(ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 消耗部品。
(ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
(チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 修理対応期間は製造打ち切り後6年となります。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常の ご使用において万一、不具合が発生したときは、保証規定によりお買い上げ後、1年間は無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

販売商品コード MC-6800B

お買い上げ店名

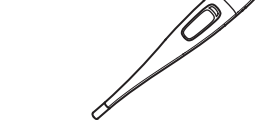
お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元
オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

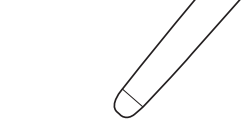
入っていますか？

☒ 次のものがすべてそろっていることを確認してください。

☐ 本体



☐ 収納ケース



☐ お試用電池（リチウム電池CR1220×1個）

※本体に内蔵されています。

☐ 取扱説明書（本書：医療機器添付文書・品質保証書付き）

※品質保証書は本書についています。紛失しないようにしてください。

☐ スタートアップガイド

・不足しているものがありましたら、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。

（☞「サポート情報」）

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

警告・注意について

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

警告

- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・子どもだけで使用させないでください。
- ・電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、乳幼児が電池やねじ、電池カバーを飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。（誤飲による窒息や傷害に至ることがあります。）
- ・検温結果の自己診断や治療をしないでください。医師の指導に従ってください。（症状が悪化する原因になります。）
- ・人の検温以外に使わないでください。（正しい検温ができません。動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。）
- ・本製品はわき専用の体温計なので、わき以外（耳や口中など）で検温しないでください。（正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。）
- ・本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。（正しい検温ができません。）
- ・他の医療機器と併用しないでください。（誤作動の原因になります。）
- ・電池を加熱したり、火の中に投げ込まないでください。（破裂などにより、けがの原因になります。）

注意

- ・本製品は防水ではありません。水につけないでください。
- ・強い静電気や電磁波のある場所で使わないでください。
- ・分解、修理、改造しないでください。
- ・本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、噛んだり、振動を与えたりしないでください。
- ・体温計の感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。（本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。）
- ・指定外の環境条件で保管したり、使用しないでください。（☞「仕様」）（正しく検温できないことがあります。）
- ・検温中は、本製品の近く（30cm以内）で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。（危険の発生や誤動作の原因になります。）
- ・電池を入れるときは、「＋」側を上にしてください。（間違えて入れると、本体が故障する原因になります。）
- ・指定外の電池を使わないでください。
- ・電池を使い切ったときや長期間（3か月以上）使用しないときは、電池を本体内に入れたままにしないでください。
- ・電源が入ったまま、電池を交換しないでください。
- ・使用推奨期限の過ぎた電池を使わないでください。（本体が故障する原因になります。）

・電池の液が目に入ったら放置せず、すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受けてください。（けがの原因になります。）

・複数の人で使用する場合、使用後は必ず消毒してください。

なぜ約15秒で測れるの？（予測検温のしくみ）

■体温とは・・・

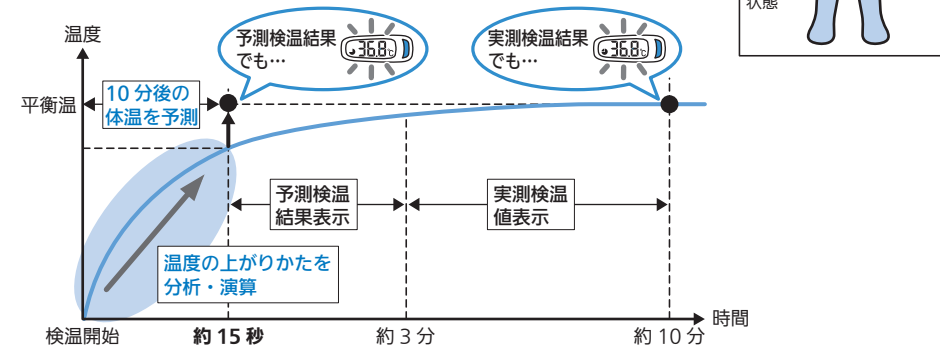
脳や内臓など、温度変化の少ない体の内部の温度のことを言います。

■通常、わきの下で正しい体温を測るには約 10 分必要

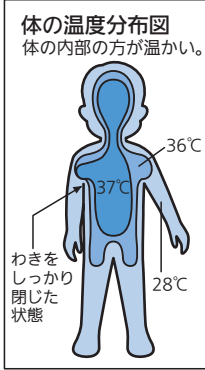
わきの下は温かいように思えますが、ある程度外気に触れているため、体の内部と同じくらいの温度になるまで、しっかり閉じて約 10 分間かかります。
※このように体の内部と同じくらいに温まったときの温度を「平衡温」と言います。

■10 分後の体温を約 15 秒で予測する

この体温計は、検温開始から温度の上りかたを分析・演算することで、約15秒で約 10 分後の体温を予測することができます。



※予測検温だけでなく、実測検温もできます。
医師の指示などで、より厳密な体温測定が必要な場合は実測検温してください。（☞「体温を測る（実測検温）」）
※予測式体温計では、正しい測定方法で検温を行わなかった場合や、血行の状態、体格などによっては、予測精度が保証されない可能性があります。



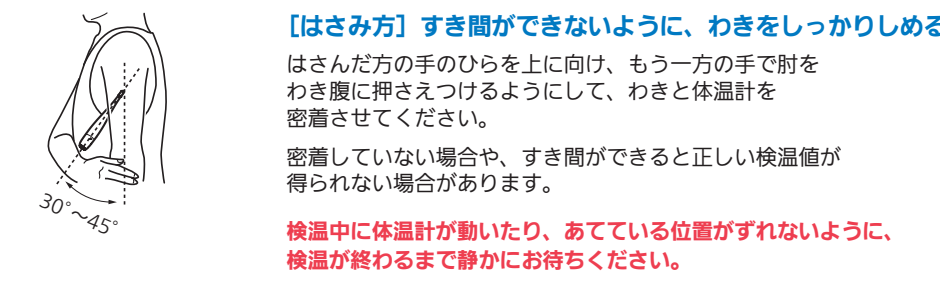
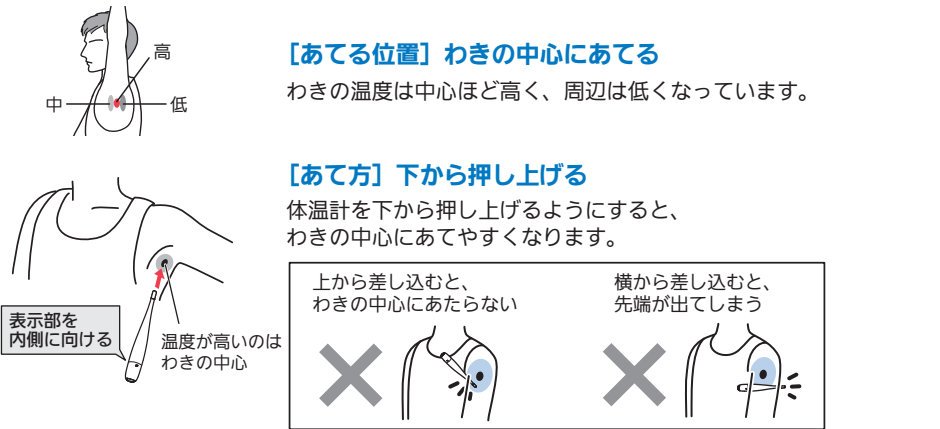
正しく測るために

検温前の準備

- ・より厳密な体温測定が必要な場合は、実測検温を行ってください。
特に医師の指示により検温する場合は、実測検温をお勧めします。
- ・運動や入浴、飲食後は、30 分以上あけてから検温してください。
- ・起床後は、動く前に測るか、安静にしてから30 分以上あけてから検温してください。
- ・連続して検温しないでください。一度電源を切り、30 秒以上あけてから検温してください。
- ・わきの下が汗ばんでいるときは、わきから汗をきれいに拭き取ってから検温してください。
- ・長時間布団の中にいたりして、熱がこもっているときは、こもった熱を冷ましてから検温してください。

検温時のポイント

体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。



アプリに本製品を登録する

「OMRON connect」アプリを使うと、測定した体温（検温データ）をスマートフォンに転送できます。転送すると、スマートフォンで体温の変化を簡単に確認できます。
初めて使用するときは、下記の手順で「OMRON connect」アプリに本製品を登録してください。

- 1 スマートフォンに「OMRON connect」アプリをインストールする

- ・ App StoreまたはGoogle Playで「オムロンコネクト」と検索するか、以下のウェブサイトからアクセスしてください。
https://www.omronconnect.com/setup/



- 2 「OMRON connect」アプリを開き、本製品を登録する

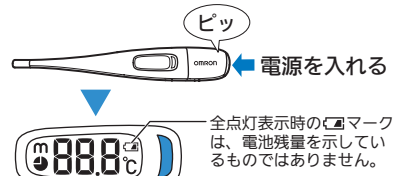
- ・アプリの指示に従って登録してください。

体温を測る（予測検温：約15秒で簡単に測定）

より厳密な体温測定が必要な場合は、実測検温を行ってください。
検温データをスマートフォンに転送する場合は、「OMRON connect」アプリを起動してください。

- 1 電源を入れる

- ・電源スイッチを押すと、「ピッ」と音がして電源が入ります。
- ・電源が入ると、表示部が全点灯した後、前回測った体温が表示されます。



- 2 「L」が表示されたら、体温計をわきの中心にしっかりとさむ

- ・左記の「正しく測るために」を参照して正しいはさみ方を確認してから検温してください。
- ・「L」が表示されないときは、体温計の感温部が32℃以上になっている可能性があります。その場合は、体温計の感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから再度検温してください。



- 3 体温計をはさんだまま、ブザーが鳴るまで（約15秒間）静かに待つ

- ・体温計のはさみかたや検温時の条件などにより、ブザーが鳴るまで時間がかかることがあります。ブザーが鳴るまではさみ続けてください。
- ・ブザーが鳴ったら予測検温は完了です。
- ・以下の場合は、裏面の「おかしいな?と思ったら」を参照してください。
 - ・検温中にブザーが「ピー」と鳴り、下記が表示されたとき

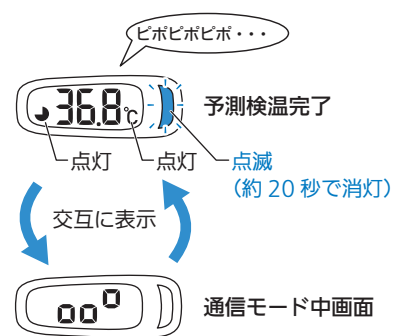


- ・ブザーが「ビボビボビボ…」と鳴り、「Err」と表示されたとき



- 4 体温を確認する

- ブザーが鳴った後、自動的に通信モードに入ります。（通信時、「ジジジ…」等の音が聞こえることがありますが異常ではありません。これは、音波通信時に発する音です。）
検温データをスマートフォンに転送する場合は、右記の「スマートフォンに検温データを転送する」を参照してください。（電源を切った後は、検温データを転送できません。）
実測検温を行う場合は、ブザーが鳴ってもそのままはさみ続けてください。右記の「体温を測る（実測検温）」を参照してください。
- ・通信時に発生する音を不快に感じる場合は、データ転送後、すぐに電源を切ってください。



- 5 電源を切って、収納ケースに入れる

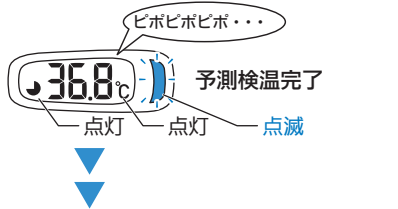
- ・電源スイッチを押すと、「ピッ」と音がして電源が切れます。電源スイッチを押さなかったときは、体温計をわきから離してから約15分後に自動的に電源が切れます。

体温を測る（実測検温：時間をかけて厳密に測定）

医師の指示などで、より厳密な体温測定が必要な場合は、実測検温を行ってください。
検温データをスマートフォンに転送する場合は、「OMRON connect」アプリを起動してください。

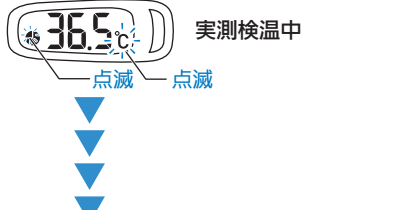
- 1 左記の「体温を測る（予測検温）」の手順1～3に従って体温を測り、ブザーが鳴ってもそのままはさみ続ける

- ・自動的に通信モードに入りますが、そのままはさみ続けてください。
- ・途中でわきから外すと、正しく検温できません。
- ・約3分後に実測検温の表示に切り替わります。切り替わった直後に表示される体温は、予測検温の結果より少し下がります。



- 2 体温計をはさんだまま、ブザーが鳴るまで（約10分間）静かに待つ

- ・ブザーが鳴ったら実測検温は完了です。
- ・検温中にブザーが「ピーピーピー」と鳴り、下記が表示された場合は、裏面の「おかしいな?と思ったら」を参照してください。



- 3 体温を確認する

ブザーが鳴った後、自動的に通信モードに入ります。（通信時、「ジジジ…」等の音が聞こえることがありますが異常ではありません。これは、音波通信時に発する音です。）
検温データをスマートフォンに転送する場合は、下記の「スマートフォンに検温データを転送する」を参照してください。（電源を切った後は、検温データを転送できません。）



- 4 電源を切って、収納ケースに入れる

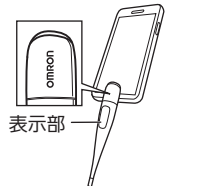
- ・電源スイッチを押すと、「ピッ」と音がして電源が切れます。電源スイッチを押さなかったときは、体温計をわきから離してから約15分後に自動的に電源が切れます。

スマートフォンに検温データを転送する

この体温計は、検温データの転送に音波を使用します。検温完了後、体温計から発せられた音波をスマートフォンのマイクが検知すると、検温データが転送されます。

- 1 アプリの指示に従って、体温計をスマートフォンの上に置く

- ・体温がスマートフォンに表示されます。転送が完了しても、体温計の表示は変わりません。
- ・静かな場所で転送してください。
- ・検温完了から2分以内に転送してください。通信モードは約2分後に自動的に終了し、終了後は検温データを転送できません。



- 2 電源を切って、収納ケースに入れる

- ・電源スイッチを押すと、「ピッ」と音がして電源が切れます。電源スイッチを押さなかったときは、体温計をわきから離してから約15分後に自動的に電源が切れます。
- ・電源を切った後は、検温データを転送できません。

裏面に続きます

電池を交換する

本製品は、リチウム電池CR1220を1個使用しています。
お買い求め時に内蔵されている電池はお試用です。電池寿命の回数以内に切れることがあります。

電池の残量が減ると、「**⌂**」マークが表示されます。さらに使い続けると、「**□**」マークと「A1」が表示されます。「**□**」マークと「A1」が表示されたら、以下の手順に従って電池を交換してください。

1 小型ドライバーで、本体裏面の電池カバーのねじを外し、電池カバーを外す

2 つまようじなどの細く折れにくい棒を使って電池を取り外す

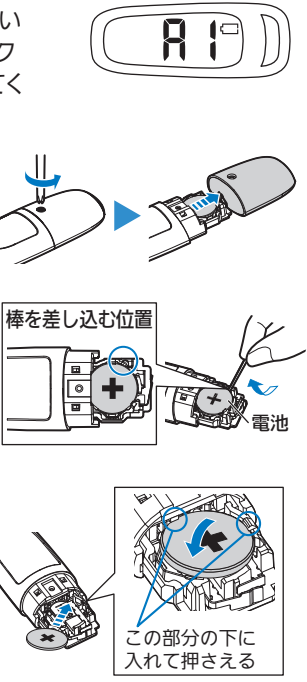
- 金属製の工具を使わないでください。周囲の部品を傷つけたり、ショート（短絡）による発熱、故障などの原因になる恐れがあります。

3 新しい電池を右図のように入れる

- 「+」側を上に入れてください。

4 電池カバーを元通りに取り付け、ねじを締める

- 使用済みの電池・本体を廃棄するときは、お住まいの市区町村の指導に従ってください。



電池交換の手順図。1. 本体裏面の電池カバーのねじを外す。2. つまようじなどの細く折れにくい棒を使って電池を取り外す。3. 新しい電池を右図のように入れる。4. 電池カバーを元通りに取り付け、ねじを締める。

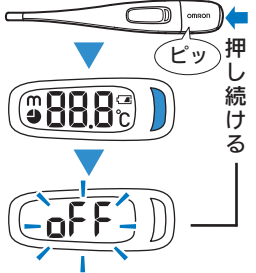
通信機能のオン・オフを切り替える

以下の手順で、通信機能のオン・オフを切り替えることができます。
お買い上げ時、通信機能はオンに設定されています。

1 電源が切れている状態で、電源スイッチを約7秒間押し続ける

2 「oFF」（または「on」）と表示されたら、手を離す

- 3回点滅した後、約2秒後に自動的に電源が切れます。

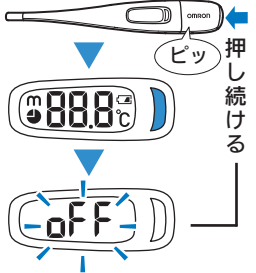


通信機能のオン・オフ切り替えの手順図。1. 電源が切れている状態で、電源スイッチを約7秒間押し続ける。2. 「oFF」（または「on」）と表示されたら、手を離す。

保管とお手入れ

保管時のお願い

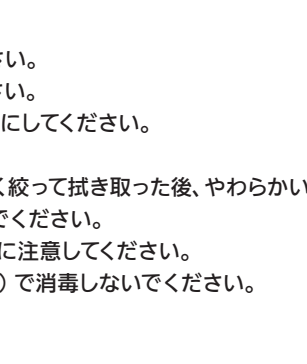
- 体温計は、収納ケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に本製品を保管しないでください。破損の原因となります。
 - 水のかかるところ。
 - 高温・多湿のところ、直射日光のあたるところ、ほこりの多いところ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - 振動、衝撃のあるところ。
 - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所。



保管とお手入れの注意図。1. 保管時のお願い。2. 体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

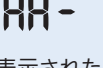
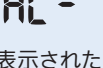
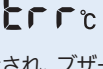
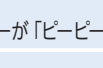
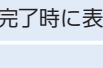
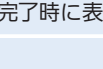
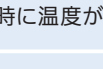
お手入れ時のお願い

- 体温計（特にフラット感温部）は、いつも清潔にお手入れしてください。
- 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2 ～ 3 回拭き取ってください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭きしてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
- 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
- 収納ケースは水洗いできます。
- 超音波洗浄をしないでください。



お手入れ時のお願い図。1. 体温計（特にフラット感温部）は、いつも清潔にお手入れしてください。

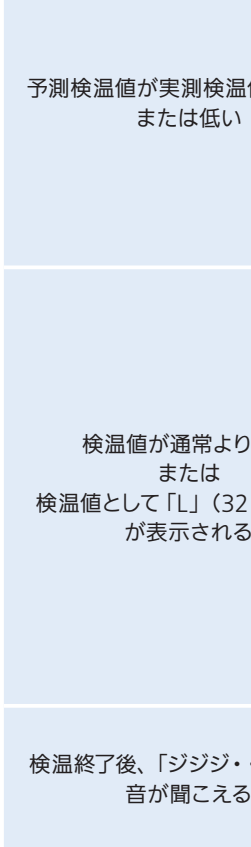
おかしいな?と思ったら

こんなとき	原因と対処のしかた
 Er.0～4が表示された	本体が故障している可能性がある。 オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。 (☞「サポート情報」)
 が表示された	体温計が約40℃を超えるところに保管してあった。 10 ～ 40℃の部屋に最低1分間は置いてから、検温してください。
 が表示された	体温計が約10℃未満のところに保管してあった。 10 ～ 40℃の部屋に最低1分間は置いてから、検温してください。
 が表示され、ブザーが「ビポビポビポ…」と鳴った	予測検温中に、わきにはさみながら体温計を動かしたり、体を動かしたりしたために、温度上昇の分析・演算に障害が生じた。 そのままはさみ続けて実測検温をおこなうか、一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
 が表示され、ブザーが「ピー」と鳴った	体温計をわきに正しくはさめていない。または、わきからずれていたために、正しく検温できていない。
 が表示され、ブザーが「ピーピーピー」と鳴った	一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
 が表示された	体温計の感温部の温度が32℃未満になっている。 エラーではありません。そのまま検温を続けてください。
 が表示された	体温計の感温部の温度が42℃を超えている。 体温計の感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。
 検温準備完了時に温度が表示される	外気温（周囲環境温度）が32℃を超えると体温計の感温部が温まり、実際の温度が表示される。 体温計の感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。
電源スイッチを押しても表示部に何も表示されない	電池の向きが間違っている。 - 電池を正しく入れ直してください。(☞「電池を交換する」) - 電池残量がなくなっている、または電池が入っていない。 - 電池を交換してください。(☞「電池を交換する」)
データが転送できない	通信機能がオフになっている。 - 通信機能をオンにしてください。(☞「通信機能のオン・オフを切り替える」) - 検温完了から2分以内に体温計をスマートフォンの上においてください。 - 静かな場所で転送してください。 - 検温完了から2分以内に転送してください。通信モードは約2分後に自動的に終了し、終了後は検温データを転送できません。 - それでも転送できないときは、「OMRON connect」アプリのヘルプを参照してください。
健康時の体温がこれまでより高い	実測式の体温計で3～5分測った場合と比べている。 実測式で10 分より短い時間で測ると、実際の体温より低い値が出る場合があります。また、正確に測定した日本人の平均的な体温（健康時）は36.89℃±0.342℃※です。例えば37.0℃でも平均的な平熱の範囲で、必ずしも発熱とは限りません。 ※出典：東京大学医学部 田坂内科：日新医学 44（12）：633-638, 1957 より
検温値がばらつく	体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっている。 体温計の正しいあて方を確認してください。(☞「正しく測るために」)



おかしいな?と思ったらの図。1. 体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっている。2. 体温計の正しいあて方を確認してください。

こんなとき	原因と対処のしかた
検温値が通常より高い または 検温値として「H」（42℃を超える）が表示される	運動や入浴、飲食の直後に検温した。 30 分以上時間をあけてから検温してください。 長時間布団の中にいたりして、熱がこもっている。 - わきにこもった熱を冷ましてから検温してください。 起床後すぐに動き出したときに検温した。 - 起床後、動く前に測るか、動き出してから 30 分以上時間をあけてから検温してください。
予測検温値が実測検温値より高い または低い	予測検温時と実測検温時で体温計の位置やわきとの密着具合が変わると、検温値に影響がでます。 体温計が、正しい位置にあたっていない。 - 体温計の感温部をわきの中心にあて、下から少し押し上げるようにはさんでください。(☞「正しく測るために」) わきと体温計の密着が弱い。 - わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。(☞「正しく測るために」)
検温値が通常より低い または 検温値として「L」（32℃未満）が表示される	体温計が、正しい位置にあたっていない。 - 体温計の感温部をわきの中心にあて、下から少し押し上げるようにはさんでください。(☞「正しく測るために」) わきと体温計の密着が弱い。 - わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。(☞「正しく測るために」) 体温計の感温部が、衣服に触れている。 - 衣服に触れないようにして、測り直してください。 連続して検温している。 - 一度電源を切り、30 秒以上間隔をあけてから、測り直してください。 わきの下が汗ばんでいる。 - わきから汗をきれいに拭き取ってから検温してください。
検温終了後、「ジジジ…」等の音が聞こえる	これは音波通信時に発する音であり、異常ではありません。検温終了後、自動的に音波通信が始まります。通信機能を使用しない場合は、通信機能をオフにすることができます。(☞「通信機能のオン・オフを切り替える」)



おかしいな?と思ったらの図。1. 検温値が通常より高い。2. 検温値が通常より低い。3. 検温値が通常より低い。4. 検温値が通常より低い。

• 以上の方法でも解決しないときは、オムロンお客様サービスセンターにお問い合わせください。

仕様			
医療機器認証番号	302AGBZX00125000	類別	機械器具16 体温計
一般名称	電子体温計	医療機器分類	管理医療機器
販売名	電子体温計 MC-6800Bシリーズ	販売商品コード	MC-6800B
測定方式	予測・実測（ピークホールド方式）	感温部	サーミスタ
測定精度	±0.1℃（標準室温23℃で恒温水槽で実測測定した場合）	体温表示	3桁+℃表示、0.1℃毎
測定範囲	+32.0℃～+42.0℃	使用環境条件	+10℃～+40℃／30～85%RH
電源電圧	DC 3V（リチウム電池 CR1220×1 個）	保管環境条件	－20℃～+60℃／10～90%RH
耐用期間	5年	電池寿命	約730回（予測検温） 約365回（実測検温）
外形寸法	20.1（幅）×136.8（長さ）×12.8（厚さ）mm	質量	約14 g（電池含む）
通信方式	音波通信	電撃保護	内部電源機器 ⬆️=BF形装着部（感温部・プローブ）
付属品	お試用電池（CR1220×1個、内蔵）、収納ケース、スタートアップガイド、取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付き）		
製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社 電話：0120-30-6606（オムロンお客様サービスセンター）		

• お断りなく仕様を変更することがあります。

EMC技術資料について
本製品はEMC規格 IEC 60601-1-2:2014 に適合しています。
本製品のEMC 技術資料は、以下のウェブサイトから確認することができます。
https://www.healthcare.omron.co.jp/support/download/emc/
ウェブサイトで確認できないときは、オムロンお客様サービスセンターにお問い合わせください。

商標について
• App StoreはApple Inc. のサービスマークです。
• Google Play およびGoogle Play ロゴはGoogleLLC. の商標です。

サポート情報

本製品に役立つウェブサイトをご紹介します。

お問い合わせの前に
■製品のよくあるご質問



https://www.healthcare.omron.co.jp/faq/

• お問い合わせの前に「おかしいな?と思ったら」もあわせてご確認ください。

オムロンお客様サービスセンター
■「オムロンヘルスケア お客様サポート」ウェブサイト



https://www.healthcare.omron.co.jp/support/

※ 2023年 4 月（第2版）
2020年12月（第1版）

管理医療機器

電子体温計 14032010

電子体温計 MC-6800Bシリーズ

【禁忌・禁止】
・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
[自己診断は、病気が悪化する原因になります。]
・人の体温測定以外に使用しないでください。
[動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。]
・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、子供だけで使用させないでください。
[誤飲による窒息や傷害に至ることがあります。]

【形状・構造及び原理等】
1.主要部の形状と名称

